

# ROSE (Removing Obstacles to cervical ScrEening) プログラム - 女性の子宮頸がん撲滅を支援

## ROSE Foundation (マレーシア、クアラルンプール)

### 主なパートナー / 関係者

Yin Ling Woo | Marion Saville | Yit Lee Choo | Adeeba Kamarulzaman | Mun Li Yam

子宮頸がんはマレーシアの女性で 3 番目に多いがんであり、20 代から 40 代に発症することが知られています<sup>1</sup>。通常はパップテスト（子宮頸がん細胞診）を通じて診断されます。このためには、子宮頸部細胞の採取のために受診し、それに続き、がんを示す細胞の変化がないかを分析する、ということが多く行われます。しかしパップテストは不快で、痛みを伴い、かつ不便でもあるため、マレーシアで定期検査を受けている女性は、対象女性の 25% に過ぎません<sup>1</sup>。さらに、結果が出るまでに最長で 3 カ月かかることもあるため、患者が追跡不能となり治療に結びつかないことも多くあります。パップテストに代わる検査として HPV（ヒトパピローマウイルス）検査があります。これは、子宮頸がん症例の 99% は高リスクの HPV 型が原因であるためです。

ROSE プログラム (Removing Obstacles to cervical ScrEening) は、検体の自己採取とデジタル技術を組み入れた、HPV 検査により一次検査を行う子宮頸がん検診プログラムであり、検診を受けた女性を確実に治療につなげることができます。このプログラムはエビデンスに基づく、女性中心のアプローチであり、高精度の HPV 検査を受けるためにセルフスワブを使うかどうかを女性に選択してもらいます。その後の検査結果とフォローアップの説明が女性の携帯電話に迅速に届けられます。

HPV 検査は診断精度が高く、マレーシア人女性の生涯の検査頻度を大幅に低減でき、それと同時に、子宮頸がんに対する適切な予防的検診も可能にします。ROSE プログラムでは検体の自己採取を行うことでプライバシーの保護と尊厳が保たれ、より多くの女性がみずからの意思でタイムリーに検診を受けることが促されます。また同時に、HPV 検査のためのセルフスワブの精度と信頼性は女性に大きな安心を与えます。また、モバイルポータルを用いることで、検査陽性となった女性とのコミュニケーションと治療へのつながりが促され、複雑で利用困難な医療制度へ誘導する架け橋となります。また、集団登録システムを使用することで、医療従事者は、検診を受けたすべての女性の進捗状況を、検診場所にかかわらず追跡することができます。これが「転ばぬ先の杖」となり、医療業務の重複を減らしながら、HPV が検出された女性の適切なフォローアップと管理が確保されます。

ROSE プログラムは、協動的パートナーシップの重要性を示すものです。政策変更によって生じる多面的な障壁に対処し、地域社会における全く新しい子宮頸がん検診プログラムの実施に向けた、インフラの整備にも対処しています。子宮頸がんのパラダイムシフトのためには、医療提供者と一般市民双方の教育という点で、多大で協動的な取り組みが必要です。ROSE プログラムではこれまで、22,169 人を超える女性の検診が行われ、HPV 検査陽性となった女性の 90% 超が治療につながっています。無数の命が救われています。この中には、早期がんと前がん状態が確認され、その後治療を受けた 194 人を超える女性も含まれます。



\* 測定できる改善を達成するまでには多くの人々の力が必要でしたが、特に ROSE プログラムのその他の中心メンバーである Su Pei Khoo 氏と Serena Lim 氏に感謝申し上げます。

1. ROSE Foundation (2019). About Program ROSE. <https://www.programrose.org/program-r-o-s-e>